

第5回 東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事概要

- 1 日 時 平成 24 年 11 月 5 日 (月) 10 : 00 ~ 11 : 35
- 2 場 所 備前市役所 3 階 大会議室
- 3 出席者及び構成員等 委員 14 名 (内アドバイザー - 1 名)
アドバイザー - 6 名 (岡山県 3 名、兵庫県 3 名)
事務局 10 名 (備前市 4 名、赤穂市 3 名、上郡町 3 名)
説明員 9 名 (備前市職員)
- 4 議事の概要

事務局 定刻になりましたので、ただいまから、第 5 回東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。

本日は、お忙しいところ、本懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます備前市企画課長の森脇と申します。よろしくお願いいたします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。会議の傍聴につきましては、別に定めた「会議規程」第 2 条で原則公開となっております。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。また、写真等の撮影希望があれば「座長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を可といたします。

それでは、開会にあたりまして、座長であります備前市自治会連絡協議会会長の宇治橋様よりごあいさつをいただきたいと思ひます。宇治橋様よろしくお願いいたします。

座 長 備前市の自治会連絡協議会の会長をやっております宇治橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日第 5 回東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催いたしましたところ、委員の皆様には何かとご多用の中ご出席賜りまして誠にありがとうございます。まず今回より新しく 6 名の委員の方が役員改選やその異動等により就任いただいているところでございます。どうかよろしくお願いいたします。

さて、この東備定住自立圏では、皆さんご承知のように圏域全体の魅力のアップ活力ある地域づくりを通して、住みよい圏域形成を目指す、圏域共生ビジョンに基づいた様々な事業を展開しているところであります。

本日は、共生ビジョンに記載した取組みの進捗状況の報告をさせます。

また平成 25 年度のビジョン見直し(案)についてご検討いただくことになっております。本日、大事なのは、委員の皆さん方が日頃より地域でいろいろご活躍いただいておりますそのことについて、アイデアやいろんな取組み状況など、しっかりとご提案いただき意見交換をするということが出来ればと考えております。そういうことによりこの会議の活性化にもなるし、このビジョンの目指すところであると考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

報道の方は、以上で撮影の時間を終了いたします。

会議の前に、若干お時間をいただき構成員等本日の出席者の紹介をさせていただきます。なお、名簿はお手元に配布しておりますので、ご覧いただければと思います。

(名簿により構成員等の紹介)

それでは、ここからは座長、議事進行をお願いいたします。

座長 それでは、「東備西播定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について」事務局より報告願います。

事務局 それでは、東備西播定住自立圏共生ビジョンの進捗状況として資料 1 の平成 23 年度事業報告書及び資料 2 の平成 24 年度上半期報告の 2 つの資料で説明させていただきますが、資料 1 を中心に説明させていただき、資料 2 の平成 24 年度の進捗状況に関しましては、資料 1 の説明にあわせてポイント、要点等を説明させていただきます。

なお各取組みに関する詳細については、本日各部会より説明員が来ておりますので、ご質問等につきましては、説明後にお尋ねいただければと思います。

それでは説明いたします。

まず資料 1 の 1 ページ、平成 23 年度は地域医療の連携として、2 つの事業を行っております。「医療連携研究会事業」として、「危機管理研修」「大動脈瘤解離」についてのテーマで、研究会を 2 回実施しました。取組みに関する事業費は、各取組み事業の枠の一番下の欄に記載しております。医療連携研究会事業では 98,579 円です。次のページ「医療情報研究会事業」は、2 回の研修会を行っております。実施日、参加者数等は、記載のとおりです。これら医療関係の取組みに関し、平成 24 年度につきましては、資料 2 の 1 ページから 2 ページにかけて記載しております「メンタルヘルス研修」や「地域医療 再生への処方箋」と題した講演会等を実施しております。

続きまして資料 1 の 3 ページ、生涯学習の推進として「巡回展開催事業」はじめ、7 事業を行いました。巡回展開催事業ですが、3 市町の埋蔵文化財を巡回展示する「自慢の遺跡展」を開催しました。出展数、各市町での開催日数、入館者数等はそれぞれ記載のとおりです。

次に 4 ページ、「指定文化財・文化施設等巡りツアー事業」ですが、10 月 1 日、3 市町の文化財や文化施設等を巡るツアーを実施し、93 の方が参加されました。

次に 5 ページ、「チャレンジデー開催事業」は、3 市町対抗により 1 日 15 分間以上運動をした住民の参加率を競う事業を実施しております。参加率等、結果につきまし

ては、記載のとおりです。

6 ページ、「図書館相互利用推進事業」ですが、平成 23 年 4 月より 3 市町の公立図書館と関西福祉大学図書館の相互利用を開始しております。23 年度は利用者カードや周知用ポスター・チラシ等を配布し、PR を行っております。24 年 3 月末日現在の各図書館登録状況は記載のとおりです。

「文化・スポーツ交流事業」では、3 市町のスポーツ推進委員の情報交換会や 3 市町スポーツ推進委員スポーツ交流事業を実施しております。

7 ページ、「文化・スポーツ施設相互利用促進事業」ですが、3 市町の文化・スポーツ施設の使用料金格差をなくし、お互いが利用しやすくするため、平成 23 年 4 月 1 日から記載施設において関係条例等を一部改正するなどして広域利用を開始しております。

8 ページ「赤穂市文化会館整備事業」については、赤穂市において記載のとおり受電設備、音響設備の改修を行っております。

9 ページ、学校給食の広域連携であります。上郡町学校給食施設整備事業については、上郡町において、資料記載のとおり給食センターの予定地決定後、設計監理委託業務発注、設計に関する技術的相談協議などを行っております。

これらの教育施設部会関係の事業について平成 24 年度についても、資料 2 の 3 ページから 8 ページにかけて記載しておりますとおり、引き続き実施しております。

次に資料 1 の 10 ページ、産業振興として「地域ブランド発掘事業」をはじめ、4 事業を行いました。

まず、「地域ブランド発掘事業」ですが、農商工連携セミナーをはじめ地域ブランド発掘のための事業を行いましたほか、3 市町の商品をかきまつりなどに出展いたしております。本年度も同様の事業を実施しております。

12 ページ、有害鳥獣対策事業は、鳥獣害対策啓発冊子を作成し、3 市町全戸配布を行っております。本年度は、ヌートリアの捕獲用わなの共同購入等を行っております。

13 ページ、企業誘致促進事業は、インテックス大阪で行われました「関西機械要素技術展」に 3 市町合同で出展し、PR を行いました。本年度も同様に出展し PR に努めております。

14 ページ、「観光振興推進事業」は、3 市町による圏域全体の広域的な観光振興を図るため、3 市町協働しての観光イメージづくりに向けた観光情報誌「るるぶ」地域版を本年 2 月に発行しております。本年度は、近畿・中国・四国の JTB 各支店、提携施設等 217 か所に約 4,000 部を配布しています。また今後は 3 市町の合同キャンペーンが予定されています。

次に資料 1 の 15 ページ、地域公共交通の関係ですが、「圏域運行バス調査・検証事業」として、圏域バスの試験運行を上郡町ルートが本年 2 月 27 日から、備前ルートが 3 月 5 日より開始しております。

運行実績ですが、資料 2 の 14 ページに記載しております。備前ルート、上郡ルートとも 1 日 2 往復で、9 月までの累計では、市町域を越える 1 便当たりの平均利用者数は 2.5 人、1 日当たり平均利用者数は 30.2 人となっており、運行基準である 1 便当たり市町域越え 1 人以上、かつ 1 日あたりのバス総利用者 16 人以上をいずれも上まわっ

ております。今後も試験運行を続けていくようにしております。

次に資料1の16ページ、「JR利便性向上事業」は、JR山陽本線と赤穂線の利便性向上を図るため、兵庫・岡山両県境協議会の要望と合わせて、JR西日本岡山支社及び神戸支社に対し要望をいたしました。本年も引き続き要望をしていく予定です。

次に、資料1の17ページ、ICTインフラ整備の関係のうち、まず「地域情報活性化事業」は、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を構築し、本格運用を開始し、本年度引き続き運用しております。18ページ、圏域ホームページ作成事業は、定住自立圏協議会ホームページのリニューアルを行うとともに今後のホームページの在り方について検討を行っております。本年度につきましては圏域ホームページとしてポータルサイトの構築に向けて準備を行っております。

続きまして19ページ、地域内外の住民との交流・移住促進の関係ですが、まず「民間イベント等助成事業」として圏域内外の住民交流の促進と賑わいを創出する事業として、記載の8団体のイベントに対し補助を行いました。本年度につきましては、資料2に記載の13事業について支援を決定しております。

続いて20ページの赤穂国際音楽祭開催助成事業ですが、昨年7月に実施され、備前市、上郡町から送迎バスを運行しております。本年も同様に10月に開催されております。

次に、定住相談会開催事業ですが、3市町合同により定住相談会を東京と神戸で行いました。本年は、相談会を3回予定しており、すでに東京、大阪で実施しております。今後年度末までに神戸で開催する予定です。

続きまして22ページ、圏域内の職員等の交流ですが、3市町「職員研修事業」として、先進地視察を実施しております。また、視察後に先進圏域視察報告会を各市町職員合同研修として実施いたしております。23ページ、「職員研修参加交流事業」として、備前市の研修に赤穂市と上郡町の職員が参加し、赤穂市の研修に備前市と上郡町の職員が参加して職員間の交流を図っております。

人事労務担当職員研究会、26ページ、専門家招へい事業、職員交流〔派遣〕事業については、それぞれ記載のとおりです。

24年度職員交流関係の事業に関しましては、職員研修参加交流事業の実施や専門家招へい事業として、赤穂市において協働による地域づくり特別講演会を実施しております。又昨年同様視察研修や集合研修、職員交流事業として、備前市で11月17日、18日に開催予定の「B級グルメの祭典」に赤穂市及び上郡町から職員を派遣していただき職員間の交流と一体感の醸成を図ることとしております。

以上で、東備西播定住自立圏共生ビジョンの進捗状況についての説明を終わります。

座長 事務局の報告が終わりました。それでは、ただいまの報告について、質問やご意見がありましたらお願いします。ないでしょうか。

私から1つお尋ねします。事務局の方で何か特別にお知らせしたい。こういうところが難しかった、よかったという点がございませうでしょうか。

事務局 苦労した点等についてはそれぞれ各部会等からきていただいておりますが、圏域バスの運行事業とかは、実際に民間の事業者等の調整を行いながら、年度末ではありま

したが、試験運行を開始することができました。また現在も、実際運行しているのですが、上郡ルートにつきましては、赤穂市民病院へ行かれる方がかなり多いようなデータが出ています。また、備前ルートにつきましては、イオン赤穂店への買物の方での利用が、多くなっているというような状況です。今後もどんどん利用していただきたいと思っております。PR に努めていきたいと考えております。

座長 最近井笠鉄道バスの廃止などもありました。バス会社等事業者のご苦労十分に理解できますが、何かバス会社の方でありますでしょうか。備前バスさんどうですか。

委員 今のところはうちはそんなにないが、備前市さんにいろいろご協力をいただいているので。圏域バスについても、病院より買物ですね、うちのほうは80歳ぐらいのおばあさんが毎週金曜日に乗っていただいていると聞いています。いまのところ特別な問題はないです。

座長 ウエスト神姫さんどうですか。

委員 先ほど備前バスさんの方からご報告があったんですが、私共としましては、まだ圏域バスを知らない人がいるということが課題かと思っています。もともと日曜日はお休みなんですけれども、何かのイベントの時に広告の片隅で結構ですので、こういうバスがあるよということを、お知らせいただく。あるいは例えば、インターネットの時代ですので、なにかの行事の時にこのページへリンクしてつながるということで、「こういう足もあるんだよ」ということをいろんな形でご紹介していただければ、われわれ担当している者はすべて知っているはずなんですけれども、一般の人にはなかなかいき届いていないということで、あらゆる機会を見つけて宣伝をしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

座長 私も商売人ですから、商いをしている、まちの為に一生懸命にご苦労されている事業者が報われ、尊敬されるようになっていただきたいと、われわれはそういう思いをもって行かなければならないと思っております。

ほかに、なにかありますか。

無いようでしたら協議事項に入らせていただきます。事務局より説明願います。

事務局 今回の共生ビジョンの見直しは、新規として5件、変更として1件の、合わせて6件であります。

資料3をご覧ください。新規事業、圏域住民診療支援事業、新規事業、中学校吹奏楽部交流助成事業、新規事業、トップアスリート等招聘事業、事業新規、備前市生涯学習施設整備事業、変更事業、文化・スポーツ交流事業、新規事業、こどもと学生のふれあい活動支援事業となっております。

「圏域住民診療支援事業」は、事業内容として備前市民及び上郡町民が圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する

額と同額とする。としており、事業効果として、備前市及び上郡町では出産できる施設がないため、赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっている。さらに、赤穂市民病院において、赤穂市民と市外の人々の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多い。このため、圏域内住民の助産料を同一とし、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する。としております。事業費は平成25年度、26年度それぞれ150万円としております。

次に、「中学校吹奏楽部交流助成事業」ですが、事業内容として、3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して、助成を行う。としており、事業効果として、圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、世界的演奏家の指導等により、音楽技術の向上が図れる。としております。事業費は、平成25年度、26年度ともに80万円としております。

次に「トップアスリート等招聘事業」ですが、事業内容は、国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるスポーツイベントを3市町の体育施設で開催する。としており、事業効果として、高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げる。また、事業実施にあたっては、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し、住民相互の交流を図る。としております。

次に「備前市生涯学習施設整備事業」ですが、備前市市民センター及び日生市民会館の老朽化した施設の整備を行うこと。としており、事業効果として、圏域内の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図る。としております。事業費については、記載のとおりです。なお、この事業は備前市が負担し整備するとしております。

次に変更ですが「文化・スポーツ交流事業」です。平成23年度スポーツ振興法改正に伴う文言修正で、体育指導委員からスポーツ推進委員へ文言を修正しております。また事業費として平成25年度、26年度にそれぞれ30万円を計上しております。

次に「こどもと学生のふれあい活動支援事業」ですが、こちらにつきましては、前回のビジョン懇談会でも、「圏域内にせっき大学があるのですから、そちらの学生さんとの連携でなにかできないか」というようなご意見がございました。こちらの事業内容としましては、圏域内の大学である関西福祉大学が実施する学生ボランティアによるこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあうことのできる活動を支援する。としており、事業効果を 圏域内のこども達の学力向上を図るとともに、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む。としております。

来年度の他の事業につきましては、現時点では引き続き現ビジョンに記載された内容で事業実施に全力を尽くしたいというのが各部会の考えであります。

なお、既存の事業を含め各事業の平成 25 年度事業費の数値については、現段階における見込数値であり、今後予算査定等を経て決定していきます。事業費決定後、委員の皆様へ平成 25 年度版のビジョンを送付の上報告をさせていただきたいと考えております。

なお、本年度中に懇談会を開催すべき事案が発生した場合には、座長及びアドバイザーと相談させていただき、会議を開催したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で平成 25 年度ビジョンの見直し案についての説明を終わります。

座 長

事務局からの説明がありました。ご質問等ございませんか。

他にご意見はございませんか。他に無いようでしたら、お諮りいたします。東備西播定住自立圏共生ビジョンの平成 25 年度見直し(案)については、原案どおり承認していただくこととしてよろしいか。

(「よろしい」の声)

ありがとうございます。

それでは、平成 25 年度共生ビジョン見直し案については承認されました。なお、先ほども事務局が言われましたが、今年度中に再度ビジョンの見直し等のことがありましたら、アドバイザーの先生と相談させていただいた上で、作業を進め、見直すということによろしいか。

(「よろしい」との声)

それでは、続きまして意見交換会に移ります。

事務局

座長がご挨拶の折にも触れられましたが、3市町が今後、発展、活性化していくためにはどうしたらよいか、圏域でこんな取り組みをすればどうかなど日頃から考えておられるご意見、アイデア等がございましたらご自由にご発言いただければと思います。

座 長

今、事務局の方からご説明がありました。これから意見交換会に入りますが、冒頭私が挨拶でも申しましたとおり、事務局がこの作業を進めていくうえで、もっとも大事なことはここで議論されましたことをもとに、一年間かけてしっかりと事務局がアドバイザーの先生方とご相談され、やっていくわけでございますから、しっかりと、ネタ、材料が欲しいわけでございますから、ここでしっかりとみなさんと議論していただき、それを事務局がしっかりと頭に叩き込んで、議事録をとっていただいて、それを次の共生ビジョンに生かしていく。

もう一つ言わせていただくと、「共生」という言葉ですが、利益や目的の違うものが寄って1つのことを成し遂げる。ですから、なにもかも同じでなくて、時には

おんぶをする。助けてもらう。お互いに強みを発揮し、そして足らざるところを助け合う。そういう意味も含まれているかと思います。どうぞ肩肘を張らずに、自分のところがすべてお返しをするそういう必要はないと思います。ですからそれぞれの強み、まちの大きさ、まちの人の気質などもありますから、そういうところをひくくめて前へ前へと進めていく。これこそがこの共生ビジョンのいいところ魅力ではないかと感じて、皆さんからしっかりとご意見いただければと思います。

アドバイザーの先生のほうから何かございますか。

アドバイザー - 座長さんの方からご指名がありましたので、私の方から発言のきっかけになるような話をさせていただこうかと思います。私はアドバイザーという立場なので、なるべくしゃべらない方がいいんじゃないかと思いますが、こんなことを考えたかどうかということについていくつかお話をさせていただきたいと思います。

定住自立圏の共生ビジョンと申しますのは、ビジョンですから、目標、ゴールが明確でなければいけない。ゴールの意味はなにかと言うと、今、人口減少社会とか高齢化が進んでいますけれど、この地域の中で未永く、持続的に生活できるような環境を作る。そして人口の流出を防ぐためのダム役割を果たしていく。こういうことをするために、ビジョンを作っていくわけですね。まず何のためにしているのかということをお皆さんよく把握していただきたいですね。人口流出を防いで、今住んでいる人たちが豊かに未永く暮らしていくことが出来るようにするためにはどうしたらいいのか。そのためのビジョンです。そのビジョンは大きく3つある。

1つは生活です。生活がしっかりしていないとどうしようもない。この生活とは何かと言うと、1つは医療ですよ。これから高齢化が進んでくる。そうすると医療の需要は高まってきます。医療をどうするかってことを、しっかり考えないといけない。このビジョン懇談会で考えないといけないですよ。それから2つ目は交通ですよ。やはりすべての施設が1箇所にかたまるとはありませぬので、せっかく3つの団体でビジョンを作っているわけですから、やはり先ほども言われたようにお互い足らざるものを補い合い助け合うということが必要です。そのためには、地域を結ばなきゃいけない。交通というのはめちゃくちゃ大切です。交通というのは地域の足ですよ。井笠鉄道バスが今回あのような状況になりましたけれども、あの事例は笠岡だけの問題ではありません。これから全国各地でおきてきます。地域交通をどうするか、ビジョン懇談会で是非話し合ってほしいですね。そして買物ですよ。交通と並ぶ買物。買い物難民ということが言われています。交通の問題と絡んで非常に大切な話でありまして、先ほど備前ルートでは、イオンの方ですね、買い物の乗客が多いという風におっしゃってましたけれども、まさにそのニーズがあるわけで、それを今後どうしていくかということです。そして教育とかいろいろありますけれども、今後生活ってものをどうするかということをお真剣に考えていか

なければならない。医療、交通、買い物、まさにこういうところが非常に大切なところであろうかと思えます。

それとですね、生活も大事ですけど、もう一つは産業ですね。仕事がないとそこに住むことができないわけで、産業をどうするかということも非常に大切なことです。今、企業誘致とかいう話も出ましたけれども、今シャープあるいはパナソニックといった大企業が7,700億、4,500億といった大幅な赤字を出しています。パナソニックにいたっては昨年と同じような巨額な赤字を計上しているわけです。美濃加茂というところがありますが、この度ソニーが撤退するという事で何千人という雇用がそこで失われていくことになる。その人たちがどうしていくのかということですよ。ですから、企業誘致といいますと言うのはたやすいのですが、これからはなかなか厳しいと思うんです。撤退していくのがどんどん増えていますから。このビジョン懇談会の中で3団体が知恵を絞って、この地域の中でどういう産業をおこしていくかということを実際に考えていかなければならないと思えます。そのためには、素晴らしい場です。是非考えていただきたいと思えます。

それから、ネットワークづくりです。これについては今日お話しを伺いますと、特に観光面であるとかスポーツとか文化の面では非常に交流が進んでいるように思いました。テニスとかいろんなスポーツ交流、3団体でされているとか、文化交流も赤穂市の文化会館でいろんな催しものがあったりして、また図書館の交流とかですね。こういった3つの団体で交流が進んでいると思えますけれども、重要なのは、生活や産業をどうしていくのかということについて、せっかく関係者が集まっているので、率直なご意見をいただいて、魅力ある会議にさせていただけたらと思えます。

アドバイザーの立場から、こういう事考えてはどうかということについてお話を致しました。

座長 先ほどアドバイザーの先生よりお話がありました。今日これから議論をする荒筋がみえてきたような気がします。

みなさま方からお一人ずつ発言をいただけたらと思えます。

それでは医師会長どうですか。

委員 今日には会長が欠席で事務局として私が出席しております。よろしく申し上げます。医療の件につきまして、25年度の見直し案の方で、助産料の負担をしていただけるということで、上郡町の方では、出産する施設はございません。非常にこれは助かるかなと思っております。先ほど先生のほうから医療のこと、人口の流出、高齢化についてお話がありました。逆にこの赤穂、備前、上郡では、年寄が元気だという部分もありかなと思えます。あまり企業数がないので若い子はどうしても外へ出ていきます。しかし、今いる方が健康で元気で、70、80歳になっても働けるような環境を作っていければいいかなと。そのためには、若い段階から自分の体を知る

こと。今、特定検診、まちぐるみ検診などしてまずけれども、企業に勤めておられる方は労基法に定められた検診を受けておられると思います。その辺を充実して、自分の体を知って、早期発見、早期治療でやっていければ、医療費もかからず健康でずっと働けるようになればいいかなと。今後、法律の改正で60歳以上の方も希望すればどんどん仕事をしていくような環境になってきています。年金問題もありますけれども。そういう意味で、高齢化社会これはどうしても避けられない問題なので、ここを上手に生かしてやっていけたらいいかと思っております。各企業の方が来られていますが、どうしても新規採用は難しいものがあると思うんです。となれば今いる人が元気で、長年勤めることが出来る環境を作ってあげていけば、あそこの赤穂、上郡、備前は、一度勤めたら元気なうちはずっと雇ってもらえるという安心感を与えられるのもいいかなと思っております。そのためには、各医療機関は協力を惜しみませんので、今後も、スポーツの方とか文化の方とか事業していくと思うんで、ドクターの派遣等あれば、ご相談いただければ各医師会協力していくと思いますので、何でも言ってもらえればなと思っております。

座長 ありがとうございます。医療、産業両面から貴重なご意見いただきました。それでは次の方をお願いします。

委員 尖閣問題や竹島問題で、中国や韓国からの観光客が減ってきており非常にきびしい状況にあるのですが、よく考えてみれば、備前市は閑谷学校という儒教にもとづく学校がありまして、赤穂には、いわゆる赤穂義士で有名な「義」という「忠義」。そういうところは儒教がもとになっている。もともとは中国の文化というか考え方が中心となった学問だと思うんです。韓国は今でも儒教を重んじています。これからも観光とかで、赤穂義士の精神や閑谷学校の精神をもっともっと韓国の方へPR進めて行ったら、共感をしてもらえるのではないかな。これは一つの考え方です。以上です。

座長 ありがとうございます、では次の方どうぞ。

委員 この度初めて出席させていただきました。教育委員の委員長という立場で、今回初めて前任の方から変わって、状況がわからないまま、ここに出席しております。これからいろいろと勉強させていただいたと思います。私自身いろんな形でボランティアをやったり、子供たちとかかわって体験学習を通じていろんなことをしています。子育てから高齢者の健康増進にかかわるまで今協議されている内容、それから共生ビジョンを見せていただいたんですが、社会教育について、チャレンジデヤスポーツ文化の交流等いろんな形で取り組みをされている中でやっぱり感じたのは、最初に座長さんが「共生」という意味について言われたのですが、大きなところは、「私はこれができるよ」というところでは、応援をし。それから、うちはこういうところが弱いんで、こういうところをもっと応援してほしいということと言

える立場ということを見ると、その中でまだ、上郡町だ、赤穂市だ、備前市だっ
て言うんじゃないで、1つのまちとして、いろいろと考えていくのであれば、格差
があってはいけない。出産の助産料についてはこういう風に新しくビジョンを作ら
れているんですが、それ以外にもいままでやってきた中で、これだけのことを費用
使ってやっているのだから、負担はほかの市町にも持ってほしいなという気持ちも
わかるんですが、そういう格差をとっばらうように、その中で事業費を利用して
いただいてその格差を少しでも早く無くしていただいて、他の事業に関してもそう
いうところで、一つのまちの形をつくっていけるようになればいいのではないかと
思います。

座 長 ありがとうございます。次の方どうぞ

委 員 私も今日が初めてで、様子がわからないまま出席させていただきました。

常々会議所で言っているのが、「我々の子どもや孫が備前市に住んでもらえない。
どうしたらいいか」ということを考えております。産業の方ですが、企業誘致も大
変大事なんですが、いまある企業が逃げないようにしていくということも非常に大
事なことであると考えています。地元の大手企業、たくさんあります。大鵬薬品、
クラレケミカル、ベアリング、そういった企業のお祭りに、積極的に我々も参加す
るなどし、是非地元と企業と会議所と仲良くしていこうということで交流を図っ
ております。

「楳の木クラブ」というのがあります。地元の企業と備前市に進出している大手企
業のトップの方との交流会を図っております、「なぜ企業が備前市に来たのか」を
さぐっていこうということで、備前市では一番古いと思われます目の前にある品川
工場などは約100年前に来ております。100年前になぜ来たかというのは、いい原
料がとれた。あるいは、海にかこまれ海に近いということで来ていますので。なぜ
備前市に企業が来たかということを探りながら、企業誘致をする必要があると感じ
ています。備前市に来ている大手企業は、理由があって備前市に来ています。その
理由を探りながら、新たな企業の誘致をすると同時に今ある企業が逃げないように
一生懸命頑張るしかないと思います。

座 長 ありがとうございます。引き続きお願いします。

委 員 赤穂商工会議所です。産業、交通、観光、商業に力をいれるということで、今月
11月17日と18日に「まるごと赤穂博覧会」を交流人口を増やす目的で取り組んで
おります。市から、半分は補助をいただいて、2日間実施します。中心市街地に商
店街が4つありますが、お客さんと呼びこむということで実施するわけです。昨年
は3万人のでした。今年も観光客など市外、県外からお客さんと呼ぼうというよう
な事業をやっております。なかなか中心地に人が集まってくれないということで、
観光、商業の充実を図るということで、中心地に観光情報物産館をつくり、商店街

のみなさんで、運営をしていただくというようなことで、やっております。

このような共生ビジョンの中で産業があまり取り上げられていない。もう少し充実していただければなと思う。赤穂は工業団地もまだ埋まっておりませんので、市の方もいろんなところへ工場の誘致を働きかけているんですが、企業としてもこういう風な状況が続いていまして、誘致ができていない状況。工場誘致ができれば、雇用を生みますし。赤穂では工場長さんばかりが集まって交流している「さんもく会」というのもありまして、外から入ってこられる方に市民になっていただくというようなことも会議所としてはご提案もしているわけですが、なかなか人口が増えないというようなことです。

意見交換で言うのもどうかとは思いますが、さきほど説明があったのですが、助産料格差があるということで150万円予算が上がっていたのですが、150万円でいたい何人ぐらいが恩恵をうけられるのか、格差というのがどれくらいなのか、なんで助成ができるのか、助成が適当なのかといったことももう少し教えていただければありがたいです。

座長 ありがとうございます。では次の方をお願いします

委員 私は、商工会と観光協会とを兼ねておりまして、上郡は自然に非常に恵まれており、現在、自然と歴史文化を資源として見直して生かそうということで取り組んでおります。24日にも赤松円心の関係の講演会も予定している。PRしているつもりですが、参加してくれる人が少ないというのが悩み。一つの事業に取り組んでもなかなか前に行きにくいというのが現状です。地域全体を前に進めていくのもなかなか大変なことだというのが感想です。

座長 次の方をお願いします。

委員 上郡町商工会のものです。先ほど委員が言われた取組を商工会の方でも行なっているのですが、この定住自立圏構想の取組みは、教育から文化から観光、産業など幅広い。こうした情報をいかに共有化するか発信するかというところで、取組みの中で、地域情報ネットワークシステム、コミュニティサイト構築とあるんですが、是非ともこうしたサイトの充実を図っていただけたらという風に思います。

座長 はい。ありがとうございました。では次の方どうぞ。

委員 赤穂とれたて朝市のもです。上郡町と赤穂市で農家をまとめまして、農家でとれた野菜を販売するというような取組をやっています。ここのところイベントがたくさん増えてきて、農家がイベントに参加するのがしんどくなってきている。大きなイベントだけにしようというようなことで、取り組んでいるところ。もっとここで、赤穂のカキ祭や備前のカキ祭りなどへ参加していきたい。しかし、日生のカキ祭りなどは、道路が非常に渋滞するので、どうしても足が遠のくというようなことになりますので、もう1本道路を整備していただければ、日生のまちにも行きやすいというようなこと

にもなるかと思えます。やはり道路が無かったら人の交流というものは図れないと思えますので、そういう風なことに力を注いでもらいたいと思う。

座長 では、次の方をお願いします。

委員 バス事業者でございます。先般も備前焼祭りが備前市で開催されておりますが、山陽本線を利用する方が会場に来にくいらしく、例えば上郡の駅に降りてもらって神姫さんに運んでもらうとか、そんなような形も考えられます。さきほども、カキ祭りで渋滞するとかありましたが、どこか一か所に集めてもらってバスでピストン輸送する方法もとれますので、いろいろと考えていただきたいです。

座長 はい。では次の委員の方。

委員 私もバス事業者の観点からお話させていただきます。民間の一事業者でしかありませんが、どうしても人口が少なくなる、あるいはモータリゼーションが発達するという中で、バスの本数は少なくなり、廃止するという方向できておりましたところ、コミュニティバスということで、企画は、市町さんで運行はバス事業というような形のバスの運営方法が各地でされています。この県内におかれましてもそれぞれコミュニティバスとして運行されているかと思いますが、コミュニティバスにも限界がございますので、企画自体が市町村でございますので、あくまで市町村を中心として市町村エリア内で運行している。ところが人の動きは、市町村のエリアを超えて隣のまちへ行った方が買物は便利、病院は便利という行政のエリアを外れて人は移動します。

アドバイザーの先生のお話にもありましたように交通というのは大事です。ですが、人はバスがあるから移動するのではなくて、何か目的があって移動するわけで、交通手段というのは第2目的でしかありません。バス事業者としては、積極的な意見ではないかもしれませんが、そのように考えております。

今回の圏域バスというのは、とてもありがたいなと感じております。市町のエリアという縛りを外しまして、人が交流しやすいような形でバスを運行しております。2月、3月に試験運行として開始しましたが、長く続けていただいて、このような構想が続きますように、バス事業者として期待するところでございます。

座長 ありがとうございます。次の方をお願いします。

委員 最近不況ということもあって、赤穂市でも企業誘致は進んでおりません。

赤穂市は義士のまち、備前市は閑谷学校と全国的なブランドではあるのですが、なかなかそれだけではたくさんの方を呼ぶのは難しくなっていると感じます。最近ではB1グルメで日生のカキオコが有名になり昨年も今年もベスト10内、第5位でしたか、入っているということでございますし、また赤穂では塩ラーメン、塩がブランドですから、そういうところのはのばしていきたいなと考えております。そういった中で四季を通して、春夏秋冬で、冬はカキオコだとか、夏は赤穂御崎で海水浴であるとか、そういう風にそれぞれの3市町に分けてできないものかなと思っております。わ

れわれからしますと、日生へは割合赤穂の人も来られるんです。というのは、赤穂市内に日生の商店などの大安売りなどのチラシなんかが入るんです。そういうのを見るとやっぱり日生までは来るんですが、なかなか片上の方まではちょっと足がのばしにくい。ですから、お互いに交流できる何かが必要かと思う。それと先ほど説明もあったトップアスリート等招聘事業といった事業も大切と思いますが、そういうトップアスリートを養成することも結構ですが、底辺をもう少し広げて行ったらどうかと思う。というのは最近高齢化が進んでおりまして、そういうお年寄りの方々にスポーツをしていただくことによって、健康保険を使うのが少なくなっていくのではないかなというように思います。最近お年寄りの皆さんはグラウンドゴルフを盛んにやられている。そういうものを3市町で持ち回りでやって、大会の争奪戦をやるとか、そういうようなことも一つ考えればいいんじゃないかなという風に思っております。

座長 ありがとうございます、引き続きお願いします。

委員 私は農業をやっております。鳥獣害対策事業についてお聞きしたいのですが、農業を営んでいる人には非常に関心が高いものです。私の例で言いますと、全部で4町の田んぼをつくっているんですが延べ面積で2反ほど猪と鹿にやられました。ここには、事業や効果的なものを書かれているんですが、実際私たちから見ると、絵に描いたような気がする。もう少し慎重に、こういう事業をしたときに結果はこうなったといったことも併記していただけたらと思う。大変関心が高いので、今後考えてほしい。

それともう一点、出産の補助金の件ですが、上郡の方が何人くらい赤穂市民病院で出産されているのかといったことも実際わからない。ただ事業費としてあがっているだけで、これも今後の問題点として併記していただけたらいいんじゃないかと思えます。その点についてよろしくお願いします。

座長 ありがとうございます。事務局の方からご質問に対して回答できますか。

事務局 助産料の件でご質問がございましたのでお答えします。現在、赤穂市の条例で、赤穂市に住所をおいている方が1回につき12万円。赤穂市以外の方は15万6千円で、3万6千円の差がございます。また、上郡町、備前市から赤穂市民病院で出産される方の人数ですが、担当の方から伺った数値になりますが、平成22年度では上郡町から11件、23年度が8件、備前市が平成22年度が17件、平成23年度が20件と伺っております。

座長 そういうことでございます。よろしいですか。

先生、委員のみなさんから、いろいろな意見が出ました。何かございますでしょうか。

アドバイザー - 今回このビジョン懇談会、意見交換という形で初めて設けられたと思いますけれども、それぞれ皆さんからいろんなご意見をいただきまして、こういう企画をされたのは非常によかったのではないかと思います。やっぱり、それぞれの立場、立場、違う方々がおられて、その立場ごとに関心ある話をされるというのは、非常に大事なこと

で、今いろいろお話を聞いている中で、私も非常に参考になりました。みなさんからいろいろお話ありましたけれども、例えば医療のお話ですと、人が生活するにはまず医療という大事な部分でありますけれども、圏域には、より元気なお年寄りが多くなるということで、これは非常にいいことであります。長野県の栄村というところがありますが、そこでは、医療費をいかに抑制するかというより、元気なお年寄りにいかに頑張ってもらえるかという、予防の方に力をいれておられるところが、やはり医療費を抑えておられますよね。この圏域の方々、元気なお年寄りが多いというのはとてもいいことで、むしろ財産でありますので、こういった方々が、いきがいをもち、お仕事を続けられて、さきほどの長野の栄村の話にもございますが、いいんじゃないかなと思います。ですから、こういう現状をこれからどう考えていっていただくかは是非この中でも進めて行っていただきたいです。

それから、閑谷学校や赤穂義士さんの話がございましたが、よそから見ていると、3つの団体が集まった非常に大きなエリアでの、なんといいですか、精神的支柱といえますか、そういうものではないかと思えます。人を呼び込むというのは、地元がどれだけ誇りをもつかということがすごく大事ですね。自分たちには閑谷学校もあるし、赤穂義士という全国に誇れる歴史をもっているというのは、その地域の人のプライドになりまして、プライドのないところはやはり衰退してしまいます。自分たちの地域にはこういうものがあるんだということを誇りをもっておられるところは、自信をもって考えられます。こういう財産を持っているということを是非、再評価していただきまして、これをどう生かすかという発想を是非考えていっていただきたいと思えます。

それから、格差の問題がありましたけれども、先ほどの医療の話も含めてね、いろんな格差がエリア内で有る。これをできる限り均等化していくということが、一体感を醸成するうえで非常に大事だとも思いますので、そういうところを是非考えてほしいと思います。

それから企業誘致の関係で、今ある企業のお話がありました。今ある企業をいかに大事にするかということですよ。「無いものねだり」ではなくて、「有るもの磨き」といいますかね。あるものをどうやって磨いていくかという発想を是非していただきたいと思えます。いくら「これがないか」と探しに行っても、先ほど言いましたように、シャープやパナソニックの話をしましたが、ほんとうに外から企業をつれてくるかというのは大変ですよ。まずは今あるものをいかに磨いていくかという発想ですよ。ですから今ある企業は本当に大事なものでありまして、そういう点考えていっていただければと思います。

商工会議所の委員さん、イベントをたくさんされておりまして、交流人口を増やしていくということをおっしゃいました。これも非常に大事であります。定住人口を増

やすのは難しいですよ。なので、いま大事なのはいろんな人に来ていただいて交流するということ、今交流しているわけなんですけれども、この中でいろんなアイデアとか出てくるわけですし、この定住自立圏共生ビジョンの中では一番進んでいるところなんです、今後も引き続きやっていただいて、地域内だけでなく地域の外からの交流人口も増やしていただきたいと、こういう風に考えます。

それからサイトのお話もございました。この定住自立圏のビジョンの一つの欠点といいますが、ここでは知られていますけれども、一般の方々がこの定住自立圏で何をやっているのかをご存じないですよ。こういうところ、もっとお知らせをやっていかなければならないですね。さきほども事業者の方から圏域バスの運行についてもだれも知らないというお話もありました。情報はどんどん出していって、「定住自立圏では交通ではこういうことをやっています」「医療ではこういうことをやっていますよ」というような話をどんどん広めていく必要があるかと思います。その中の1つにサイトの交流といったものの充実は非常に大事ですので、是非お願いしたいと思いません。

次に、地域交通コミュニティバスの話が出ましたけれども、市町村のレベルではやはり限界があるというので、それを取っ払って圏域全体で考えようというこういうことが、このビジョン懇談会の大きな役割かと思えますけれども、そういう意味では非常に重要でありまして、今回補助金をつけて、2つのルートの実験を始めてますよね、社会実験を。是非ですね、補助金が終わったら終わりではなくて、これは投資ですよ。投資というのは、補助金が無くても民間が自立的にやっていくようにしなきゃならないことですよ。この社会実験は、税金をもらって実験できるわけですよ。このルートはいけるぞとか、このルートはだめだとかですね。是非、積極的に生かしてもらって、このルートこれはいけるなというものがわかれば、補助金がいつまでもあるわけではないので、この計画は26年度までですよ、26年で終わったら終わりじゃなくてね。終わったら民間に引き継げるようなことをしなければ、ビジョン懇談会の意味がないですから、是非この社会実験で、ルートの余分なチェックをですね、民間がやってもお金がかかるわけですから、これを公共的なものでやれるわけですから、ぜひ生かしていただいて、この3圏域にまたがるような新しい公共交通ルートをつくっていただいて、人々が買物とか医療機関とか自由に行けるようにしていただけたらと思います。

それから、人を呼ぶ工夫というお話がありましたけれども、本当にこのエリアというのは、さきほども言いましたが、赤穂義士の話とか、閑谷学校、備前焼、いろんな全国に誇れるものがありますので、是非ここをですね、生かしていただきたい。

それからトップじゃなくて底辺の話がありました、一般の人が、どんどんスポーツとかやれる工夫というものを生かしていただきたいとおっしゃっていました。これは大事なことでありまして、これは、さきほどの医師会の方のお話にもつながるわ

けですが、医療費の削減にもつながりますので。圏域で元気に暮らしていくということが大事、とにかく平均寿命でなく、健康寿命ですよね、健康で暮らせる年齢をいかに長くするかということが大事なことです。寝たきりで平均寿命のばしてもあんまり意味ないですから、やっぱりそういう意味ではスポーツの普及というのは大事ですね。特別の技術、トップのアスリートの技術はないですから、みなさんがスポーツできる、そういうものを展開してほしい。

それから、鳥獣被害のお話ができました。このお話は私も非常に気になっておりました、私は中山間地域の研究がメインなんですが、新庄村というところがありまして、鳥獣被害がものすごく広がっています。おとといも仕事で信州方面へいったのですが、そちらでも鹿がたくさん出てきて大変だということです。気をつけてないと正面衝突してね、事故も多発しているということです。せっかく育てたのに最後のところでやられちゃうというのは、ほんとに農家の方はね、やる気をほんとに失ってしまうと思いますし、やっぱりこれも、市町村レベルでなく広いエリアで対策を練る必要があります。それぞれ行政エリアを超えた鳥獣被害対策にも力をいれていただきたいと思います。

皆さんの話にコメントさせていただきました。

要するに、どうやったらここで豊かな生活できるか。これですね。これからいろんなことに挑戦していきながらやっていくうえで、今回こういう形で意見交換をすることが出来たのは非常によかったと思います。

座長 どうもありがとうございました。せっかくですので、他に何かございますか。無いようでしたら事務局からなにかありますか。

事務局 共生ビジョンは毎年見直しすることとなっておりますが、その際には、懇談会での検討を経ることが必要となっております。本日も検討いただいた案件につきまして、委員の皆様方からいただいた貴重なご意見を各部会に伝えまして、今後検討していただくようにしてまいりたいと思います。

なお、本日も承認いただきました平成25年度のビジョンにつきましては、今後事務局において、総務省との協議等、諸手続きを経まして、年度末までにビジョンを公表してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

座長 みなさん熱心にこの意見交換会それぞれの地域でのお立場からご発言いただき、大変参考になったと思います。多田先生におかれましては、逐一細かくコメントいただきまして本当にありがとうございました。大変に参考になりました。閉会ということで一言お話ししたいのですが、私も実は備前阿波踊り「楷の木連」に所属し、週に2度稽古をしており、2度、徳島の方の棧敷席のある演舞場で踊ってまいりました。阿波踊り三昧の男でございますが、一度は赤穂市の方から、女四十七士ですかね、オフアールがありまして、それから上郡町の方からいろいろオフアールがあり、踊りにいくこ

とになっています。そういうことで、地域の人たちとふれあう。地域には、生まれも育ちも違っていろいろな特性があります。それぞれのカラーがあるわけですが、このようなイベントなどを通して、人の心がふれあって、まさにこのビジョンが目指すところに行くんじゃないかなと思っております。これで閉会と致します。ありがとうございました。

了